

自己負担額のシミュレーション

事例：有床診療所において、1,300㎡を対象面積として通常型スプリンクラー(消火ポンプユニット有り)を25,000千円の事業費(工事費)で整備した場合

<自己負担額>

自己負担額は、次の計算により、12,500千円となります。

(計算式)

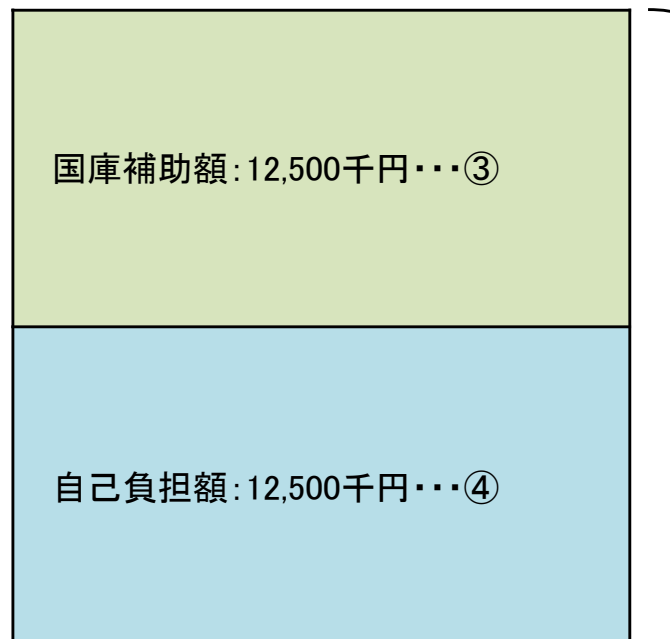
事業費(工事費): 25,000千円...①

基準額: $1,300\text{㎡} \times 19,900\text{円/㎡} + 2,019\text{千円} = 27,889\text{千円}$...②

国庫補助額: 12,500千円...③ (=①、②の低い方 $\times 1/2$)

自己負担額: 12,500千円...④ (=①-③)

(負担割合)



※ 自己負担額12,500千円について、優遇融資を活用する場合の返済シミュレーション結果は次のとおりです。

※ 次の例は、診療所(耐火構造)の最大償還期間(据置期間)である 20年(1年)、金利0.9%(R5.8.1現在)でシミュレーションした例であるため、実際の条件については、(独)福祉医療機構へご相談ください。

<融資可能額>

自己負担額 $\times 95\% = 11,875\text{千円}$

(3,000千円以上20,000千円未満は500千円単位で切り捨てのため、融資可能額は11,500千円)

<各年の返済額の例(元金均等償還の場合)>

・Aパターン

(償還期間20年、据置期間1年の場合)

→元金605千円+利子101千円 = 706千円

※1年目は利子のみの返済

・Bパターン

(償還期間20年、据置期間なしの場合)

→元金575千円+利子96千円 = 671千円